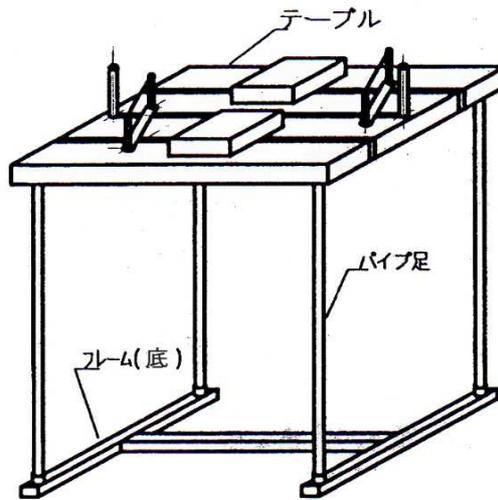


アームレスリング競技台 組立手順

- 1、フレーム(底)を安定した床に置いてください。
- 2、ガタガタしたり、大きく傾いてないことを確認してください。
- 3、パイプ足4本を確実に最後まで差し込んでください。
- 4、2人でテーブルを水平に持ちパイプ足に差し込んでください。
- 5、完全に最後までパイプ足に差し込んでいるか確認してください。
- 6、分解作業は2人でテーブルを水平に持ち上げてパイプ足から抜いてください。
パイプ足が、テーブルと一緒に抜ける場合があります危険ですから注意してください。

組立状態で移動する場合は、必ずフレーム(底)を持ってください。
テーブルを持って移動するとフレーム(底)、パイプ足が落下し危険です。



アームレスリング競技のルール(公式大会の抜粋内容)

1. 服装

- ・服装は、原則として運動靴、トレーニングパンツ、半袖Tシャツもしくはタンクトップとし、長袖の場合は肘の上部まで捲ることとする。
- ・手首、腕、肘等にサポーター類を着用する時は審判員の了解を得ること。
但し、腕時計、腕輪、指輪、ベルトの着用は禁ずる。

2. 競技方法

- ・競技の審判員は主審、副審の2名とする。
- ・競技者は競技台をはさんで競技開始前後に互いに一礼し、握手する。
- ・競技は1回戦で決定する。
- ・競技に時間制限は無い。但し、審判員の判定により優勢勝ちはある。
- ・競技者は審判員の指示により、定められたエリアに肘を置き、腕を組み「レディー」の声を待つ。
- ・審判員は、いずれか不公平と見た場合、正しい組み方を指示する。
- ・競技は審判員の号令「ゴー」で始まり「ストップ」で終わる。但し「ゴー」の前に動かした場合はファールとなる。
- ・競技は相手の手の甲を競技台のパットにつけた方をフォール勝ちとする。
- ・手の甲が競技台につかなくても競技の情勢により、優勢勝ちを審判員は宣することができる。
- ・試合中に審判員が危険とみなした場合は、即座にストップをかけることができる。
- ・競技者は競技中、肘を定められたエリアから離すかみ出した場合は、ファールとなりファールは2度で失格となる。
- ・競技者は競技中「気合い」以外の他言は発してはならない。

練習中の事故または競技中の事故等においては、
一切の異議申し立てを受け付けませんのであらかじめご了承下さい。